

船橋工場にプレミックス工場を新設

昭和産業株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 新妻一彦)は、プレミックス生産の強化に向け、船橋工場(千葉県船橋市)内に新プレミックス工場を建設する事にいたしましたので、お知らせします。

昭和産業グループは90周年を迎える2025年度に向けた長期ビジョン「SHOWA Next Stage for 2025」を2017年に発表し、基本戦略の一つとして「基盤事業の強化」を掲げております。

今後顕在化してくる労働力不足への対応や価格競争力の確保のために、当社プレミックス小袋製品の主力工場である船橋パッケージセンターを更新する事としました。

新しいプレミックス工場では、最新の自動化設備やIoTによる高い生産性と、生産リードタイムの短縮・多品種小ロット生産を実現します。また食品安全も追求した建屋設計とし、よりお客様にご満足いただける製品の提供を目指します。

<新工場の概要>

所在地	千葉県船橋市日の出 2-20-2
建築面積	鉄骨造 5階建 延床面積約 11,000m ²
投資総額	56億円(建物、製造・包装関連施設等)
事業内容	プレミックスの製造・包装
生産能力	年間約 28,000t
着工	2020年7月
操業開始予定	2022年6月



完成予想図

以上

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>

昭和産業株式会社 経営企画部 コーポレート・コミュニケーション室 担当:赤松

TEL:03-3257-2042